

令和3年度第2回 地域医療支援研修会（紙面開催）

開催：令和4年3月

講師：★がん相談専従看護師 岡野みどり ★緩和認定看護師 菅原甲子

研修項目：①がんにつて

- ②患者同士の支え合いの場について
- ③がん相談支援センターについて
- ④地域との連携について
- ⑤麻薬の特徴につて
- ⑥痛みのケアのコツについて
- ⑦終末期の呼吸困難について

アンケート実施期間：2022年3月初旬から3月28日

アンケート配布施設：訪問看護ステーション・地域包括支援センター 計40施設

アンケート回収率：40施設中10施設（25%）

アンケート回収枚数：22件

アンケート結果

講義内容は在宅医療・看護に生かされる内容でしたか

①活かされる内容である	20
②少しは活かされる内容である	1
③活かされる内容ではない	0

アンケートからの評価

アンケート結果からは概ね良い結果を得られており、がん相談支援センター、痛みについての資料作成を行ったことは効果的であったのではないかと考える。しかし、アンケートの回収率が少なかったことから、締め切りまでの間にアンケート提出を促す働きかけを行う必要があったのではないかと考える。

地域で生活をする方を支える方々ががんの症状緩和の方法など基本的な対応、また、がん相談支援センターを知っているが具体的な内容までは知らないという事が、今回のアンケートや資料作成を通して知ることが出来た。

今回は事前アンケート結果よりがんの症状緩和（医療用麻薬に関すること）に関して、当院の緩和認定看護師により専門的な立場で資料を作成した。がん相談支援センターの認知度は全国的にまだまだ低く、今回、がん相談支援センターの関わりを事例を通して資料を作成したことで、地域で生活を支える方々に相談できる場所があることを知ってもらうことが出来たと考える。

がんでも住み慣れた場所で過ごすことが出来るよう地域で、生活を支える方々との情報共有をしながら、がん患者、家族を支えていきたいと思う。

次年度以降に関しては感染症の影響をみてどのような形式で研修会を開催していくかは検討していく必要がある。